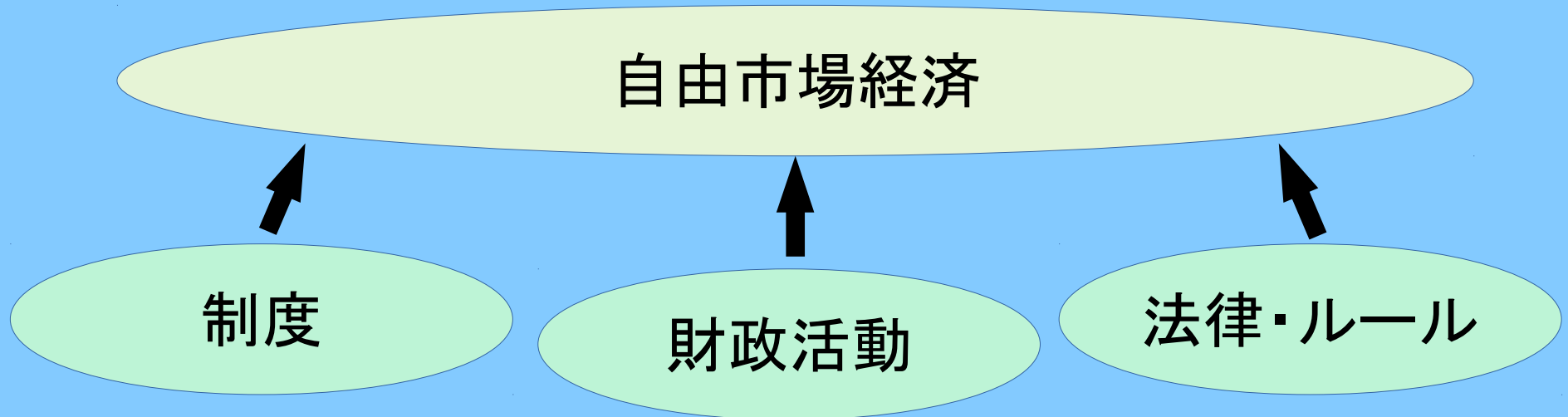


# くらしの経済パッケージとは



一人ひとりの自由な選択とそれを支える制度やルール。  
つまり、経済の私的領域と公的領域。

その役割とはたらきの違いに着目して考える。  
それが くらしの経済パッケージ の視点です。

# 「くらしの経済P」の視点(1)

現代社会は**自由市場経済**を基礎として成り立っています。

- ・ 私たちは、自分の手持ちのお金の範囲内で、自由に、買い物をします。
- ・ 私たちは、お金を手に入れるために、自由に、仕事・職場を選びます。
- ……………相手のある話ですから、思い通りにいかないこともありますけども。

自由市場経済には、**さまざまな欠陥**があります。

- ・ 仕事につけなくて、お金が得られないこともあります。
- ・ 病気やケガのために働けなくなることもあります。
- ・ 個人の努力だけじゃなくて、社会全体で助け合うことも必要です。

# 「くらしの経済P」の視点(2)

自由市場経済には欠陥がある。

だから、**政府**が一人ひとりを**サポート**します。

- ・ 病気やケガの治療が必要な人は医療保険制度で支援します。
  - ・ 失業中の人には失業保険制度や就職支援サービスがあります。
  - ・ 誰もが学校に行けるように、公立学校を作ったり補助金を出したりします。
- ……………十分にはできていないこと、改善すべきこともたくさんあるけれど。

そのために、必要なお金、つまり、**税金**を集めます。

- ・ 働いている人には所得税。儲けている企業には法人税。
- ・ 買い物すれば消費税。他にもいろんな税金があります。

# 「くらしの経済P」の視点(3)

自由市場経済。一人ひとりが自分の考えにしたがって選ぶ経済。

政府による制度や財政活動を通じた介入、自由市場経済の欠陥を補う経済。

私たちの経済生活は、二つの経済の領域にまたがって、営まれています。

それぞれの役割やはたらきの違いに着目しながら、

経済のしくみに迫る。それがくらしの経済パッケージにおける**学びの視点**です。

# 希望進路

基本的に、どんな仕事に就く人であっても役に立ちますが。  
次のような仕事を希望する人に、特におすすめします。

- 地方公務員
- 福祉・医療関連の仕事
- マスコミ・シンクタンク
- NPOやNGO